

旧齋藤邸の概要

旧齋藤邸は、主屋・離れ・竹林・竹紙房などからなる、敷地面積約 5,500 m²の古民家です。主屋は明治 34 年（1901 年）に建てられ、大学教授だった故・齋藤雄三氏が買い取った後は主屋の増築や庭の整備が行われ、平成 10 年（1998 年）に妻の故・齋藤トシ様から松戸市へ寄附されました。

主屋は茅葺屋根を有し、紙敷地区の典型的な農家の建築様式を踏襲しつつ、随所に近代和風建築の要素が加わっています。平成 29 年（2017 年）には、古くから地域の景観を今に伝えるものと評価され、国の登録有形文化財（建造物）となっています。

現在は、生涯学習の場として、個人でも団体でも利用・見学ができます。また、竹紙房では竹林の竹を使用した竹紙すきの体験ができます。

予約・お問合せ

電話：047-382-5570 FAX：047-384-8194
松戸市教育委員会 文化財保存活用課
〒270-2252 松戸市千駄堀671

案内図 東松戸駅から徒歩約 13 分



旧齋藤邸所在地：松戸市紙敷 588

※駐車台数には限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力をお願いします。

国の登録有形文化財（建造物）

旧齋藤邸



利用案内

■利用可能日

- ・火～土曜日の午前10時～11時、午後1時～4時
- ・(最終入場午後3時30分)

■利用不可日

- ・月曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12/28～1/4)

■利用方法

※詳細はホームページをご確認ください。

- ・利用・見学:無料
- ・竹紙すき体験:無料



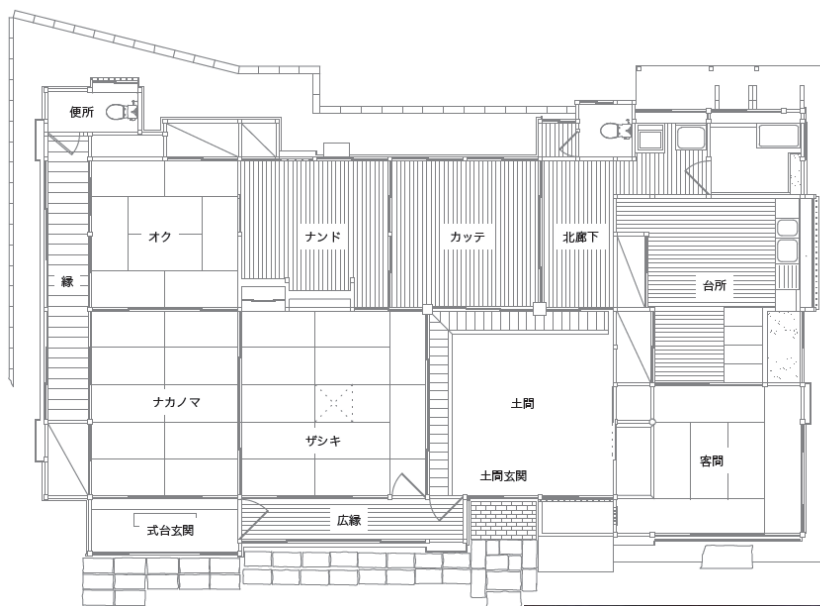
電話: 047-382-5570

メール: mcbunkazai@city.matsudo.co.jp

■駐車場

- ・5台程度(表門の反対側に有り)
- ※台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

旧齋藤邸(主屋)見取り図



ちくし竹紙ができるまで



①初夏、その年の若竹をチップにします。



②早く腐らせるために石灰水に漬けます。(1年以上!)



④ミキサーにかけた繊維を水に溶かせばいよいよ紙すきです。



③鍋で煮て白でつくと繊維が残ります。



⑤数日間陰干しすれば完成!

旧齋藤邸 花暦

※見頃の時期は年によって変わります。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ウメ		■										
ツバキ	■											
スイセン			■									
ハナモモ			■									
ユボシ			■									
オニユズ					■							
シャラ						■						
アジサイ						■						
サルズベリ							■					
フヨウ								■				
キンモクセイ									■			
ギンモクセイ										■		
ススキ											■	

ちくし竹紙ってなに?

竹紙は竹の繊維を原料にした中国発祥の紙です。旧齋藤邸の北側には広大な竹林が広がっており、竹林の竹を使って竹紙作りを行っています。旧齋藤邸では無料で紙すきの体験ができますので、お越しの際には体験してみたいはいかがでしょうか? (体験ご希望の場合は事前予約をお願いします。)



※旧齋藤邸は、郷土遺産基金(皆様の寄附金)により、維持・活用しております。